

小中高を通じた英語教育の展望と課題

—主体的・対話的で深い学びを具現化する授業改善と教師の在り方を中心に—

主体的・対話的で深い学びと学習過程の質を重視する次期学習指導要領、「話す」「書く」能力の評価を含む大学入学共通テストの導入等により、日本の英語教育は大きな変革期を迎えています。このような状況において、主体的・対話的で深い学びを具現化する小中高を通じた授業改善と教師の在り方が問われています。

本セミナーでは、菅正隆氏に、小学校での英語の教科化に対する小中連携の課題とともに、教師が中高での高度化した教科内容と学習過程の改善により、どのように評価観の変化に対応できるかなどについてご講演頂きます。また、坂本篤史氏には、小中での授業改善のための、教師自身が学び手として同僚とともに主体的に学び合うための協同的な省察の在り方などについてご講演頂きます。参加者の方々と共に、変革期の英語教育における授業改善と教師の在り方について考える場となれば幸いです。

日時 2018年 9月1日(土)
13:00～17:00(12:30受付開始)

場所 熊本大学 黒髪北キャンパス
文・法学部棟1階 A2教室

※ご来場の際は、できるだけ公共交通機関のご利用をお願いいたします。



【プログラム】

講演1「日本の英語教育の未来—小中高を俯瞰して—」

菅正隆氏 (大阪樟蔭女子大学児童教育学部 教授、元文部科学省初等中等教育局教科調査官)

講演2「主体的・対話的で深い学びと授業研究

—小中での教師の協同的省察の在り方を中心に—

坂本篤史氏 (福島大学人間発達文化学類 准教授)

質疑応答

参加費無料

【お申し込み・お問い合わせ】

熊本大学大学院社会文化科学研究科 社会人大学院教育支援センター
Tel/Fax:096-342-2390 E-mail:scsien@kumamoto-u.ac.jp

※できるだけ、前日までに電話/FAX又はe-mailでお申し込みをお願い致します。

氏名・所属先とともに、「英語教育セミナー参加希望」と明記してください。

詳細は「社会文化科学研究科ホームページ」をご覧ください。

<http://www.gsscs.kumamoto-u.ac.jp>